

# アーカイブ Data Report

NO. 207

(2023年2月24日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F  
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学\*・沖縄女子短期大学・遠隔教育振興会

(\*岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

## 美濃加茂市民戦争体験談のデジタルアーカイブ化と発信

渡邊 唯里・林 知代 (岐阜女子大学)

### 1. 戦争の記憶に触れる機会は少くないか？

太平洋戦争終戦から77年を経て、戦争体験者が減っている現在、私たちが戦争の記憶に触れる機会は多くなく、修学旅行や、8月の終戦記念日の頃に放送されるテレビの特番ぐらいになっているのではないかと感じる。取り上げられる内容も、大都市や被害が特に大きかった地域に限定されてきているのではないかと感じる。また、今現在、自分が住んでいる地域でも戦争はあったのに、身近な場所で起こったことについて知る機会が少ないと考えた。

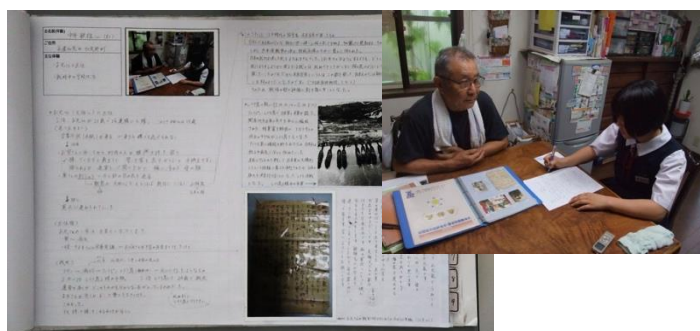
戦争を他人事ではなく「身近」に感じ、自身の地域の事として興味を持てる情報として提供するにはどのようにしたらよいか試行した。

### 2. 過去に収集した美濃加茂市民戦争体験談資料

中学3年生の時に、美濃加茂市近辺に住む13人の方に戦時中の体験や思いなどをインタビューし、自由研究の結果として手書きでまとめた経験があった。



美濃加茂市民戦争体験談資料



インタビューの様子

その時、インタビューで使ったメモ用紙、デジタルカメラで撮影した画像データ、音声データ、文字起こしをしたテキスト資料が、それぞれ紙、USB、SDカードなど違う媒体で保存してあったため、デジタル化し、ファイルの命名規約を決め、デジタルアーカイブとして整理を行った。

### 3. WEB サイト「美濃加茂市民戦争体験談アーカイブ」

デジタルアーカイブ化したデータを活用してWEBサイトを制作した。インタビューの音声データとその文字起こしテキストを中心に構成した。お話しの内容によって数分程度に分割し、内容にあわせて、入隊・朝鮮での生活・名古屋空襲・子どもの暮らし・学徒動員・家族の出征・岐阜空襲・戦争・平和への想い、戦後の生活・戦時中の学校生活・満州にて・満蒙開拓青少年義勇軍・終戦・美濃太田駅機銃掃射の15項目にタグ付けを行った。タグを付与することで、お話し



WEB サイト「美濃加茂市民戦争体験談アーカイブ」  
<http://dagwu.com/minokamosensou/> 公開中

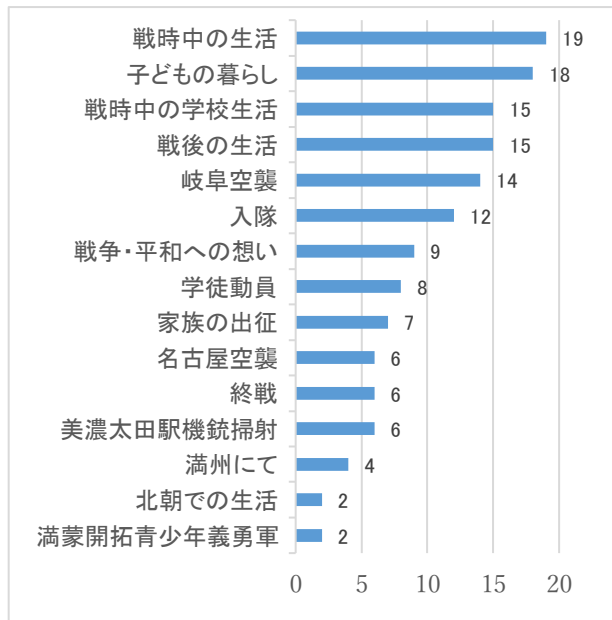
の中で選択した項目に該当する部分のみが表示されるようになった。実際に見た人や噂に聞いた人など、同じ出来事でも体験者によって見方が違うということが比較しやすくなった。

また、既存の戦争アーカイブについて調査した結果、全国規模でなく特定の地域を対象としたサイトの場合、その地域の地名や施設の情報も付け加えることにより、理解度や注目度も挙がると考え、文献調査した美濃加茂市の産業の様子や平和活動などの情報を載せた。

### 4. 利用アンケート結果と考察

岐阜女子大生 51 名にアンケートを行った。

「どのタグに興味を持ったか」という質問では、兵隊などの体験よりも戦時中の生活や子どもの暮らしなどの戦時下の体験に興味を持つ傾向が見られた。回答者に岐阜県出身者が多かったことから、名古屋空襲よりも身近な岐阜空襲が注目された結果となった。「どの人のインタビューに興味を持ったか」という質問では、女性の体験談や子どもの生活に関する体験談に興味を持つ傾向が見られた。アンケート対象者が女子大学生であったため、女性の体験という閲覧者にとって近しい内容のものを選んで閲覧する人が多い傾向があることが分かった。WEBサイトの公開目的は、平和の大切さを伝えることだけではなく、身近に



アンケート結果 タグに興味を持ったか(人)

居る人が経験したことやその思いに目を向けるきっかけになることだった。アンケートの結果から、目的は少し達成できたと考え、今後はたくさんの人に閲覧していただき、戦争と地域について考える一助になることを願う。 ※ 渡邊唯里学士論文(令和4年度受理)より抜粋報告